「新広域道路交通ビジョン」及び「新広域道路交通計画」について

現在の交通課題の解消や増大する災害リスクへの対応、さらには新技術の発展や社会情勢の変化に備えるため、去る6月8日、国が「新たな広域道路ネットワークに関する提言（中間とりまとめ）」を公表した。

これを受け、本県の実情を踏まえた広域道路ネットワークの方向性を示す「新広域道路交通ビジョン」及び「新広域道路交通計画」の策定に着手する。

1 「ビジョン」及び「計画」の概要

■ 「新広域道路交通ビジョン（案）」

「ミッシングリンクの早期解消」や「災害時の多重性や代替性の確保」等の視点に加え、インバウンドや国際物流等への「グローバル化対応」、ICT・自動運転等の「技術進展」を取り入れた、概ね20～30年先の広域道路ネットワークの将来像を提示

■ 「新広域道路交通計画（案）」

上記「ビジョン」に基づき、現在のネットワークや拠点、強化する路線の絞り込みを行い、平常時・災害時及び物流・人流の観点を踏まえた具体の広域道路ネットワークを計画路線も含め構築

2 今後のスケジュール

議会での御論議やパブリックコメントを実施し、年内の策定を目指す。